

1. BCP基本方針

大地震発生時には、以下の方針に則り対応する。

1	
2	
3	

2. 対応責任者

全体統括責任者	主な役割：事業所全体における意思決定を行い、対応を統括する。 初動対応フェーズ：安全確保や安否確認など会社機能の維持に関する実務を指揮する。 事業継続フェーズ：中核事業の継続に関する実務を指揮する。
(代行者①： 、代行者②： 、代行者③：)	

3. 中核事業と目標復旧時間

中核事業	
目標復旧時間	

4. 対応事項

(1) 大地震発生直後 (目安：直後～可能な限り速やかに)

①館内のお客様の安全確保

基本対応	
------	--

②避難

基本対応	
------	--

③救助・負傷者対応

救助・応急処置 道具の所在	
緊急搬送先①	距離 m (TEL:)
緊急搬送先②	距離 m (TEL:)

④安否確認

基本対応	
対象者	(統計 人 (年 月現在))
集計担当	
①お客様 (館内)	
②お客様 (館外)	
③役職員 (館内)	
④役職員 (館外)	

(2) 初動対応フェーズ (目安：直後～24時間以内)

①状況確認

確認対象	担当者 (部門)
お客様の状況※「宿泊者名簿、予約一覧」等を利用	
役職員 (含む家族) の安否	
自社の建物・設備 (含むIT) の状況 ※建物の安全性確認実施等 委託先の状況 ※リネン・食材供給事業者などの確認等	
社会インフラ (電力・通信・交通等) 状況	
近隣の旅館・ホテルの被害状況	
旅行代理店への被害状況連絡	
自社HPへの被害状況掲載	
その他	

②帰宅許可 ※社員 (役員・従業員)

基準	・自宅への帰宅経路の安全が確保できていること。 ・明るい時間帯のうちに帰宅できること。 ・原則徒歩で帰宅できること。
留意点	・帰宅経路の道路状況や被災エリア等、外部の情報を案内する ・帰宅時に水・食料を持たせる ・帰宅後、到着確認を報告させる

③備蓄品の状況 ※館内のお客様、役職員

お客様		社員			
品名	数量	品名	数量	品名	数量
ヘルメット	個	ヘルメット	個	懐中電灯	台
飲料水	リットル	飲料水	リットル	救急箱	箱
食料	食	食料	食	携帯ラジオ	台
トイレトーパー	個	トイレトーパー	個	電池式ランタン	台
簡易トイレ	回分	簡易トイレ	回分	乾電池	本
※飲料水：一人1日3リットル、食料；最低3日分 (できれば7日分) の準備が推奨されます				救助用工具	セット

(3) 事業継続フェーズ

①中核事業の継続

対応戦略	宿泊中のお客様対応	予約のお客様対応	復興支援者対応
課題			
対応手順	共通事項		

②資金調達

	概要	予想資金 (3ヵ月)
必要な資金	(A)+(B)	万円
(A)経営維持費用	役職員への給与支払い	万円
	買掛金の支払い	万円
	その他	万円
(B)災害復旧費	被災建物・設備の復旧	万円
	その他	万円
調達可能な資金	(C)+(D)+ (E)+(F)	万円
(C)利用可能な手元資金 (現在の現預金)		万円
(D)回収可能な売掛金		万円
(E)		万円
(F)		万円

5. 事前準備

(1)	チェック	(できていない場合)
対応事項リスト実施		までに対応する
役職員の家計地震保険加入促進		までに対応する
安否確認訓練とお客様の避難誘導 手順の確認訓練の定期的な実施		までに対応する
救助・応急処置道具の整備		までに対応する
「旅行代理店一覧」の更新		までに対応する
備蓄品の整備		までに対応する
		までに対応する
		までに対応する

(2)	チェック	(できていない場合)
		までに対応する
		までに対応する
		までに対応する
		までに対応する
		までに対応する